

様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画 作成 報告書 (任意)

平成 25年 7月 11日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼47
株式会社 田中工業
代表取締役 田中一良
〔個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印）〕
電話番号 049-296-2191



平成 25 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化
対策推進条例 第 1 3 条 第 1 項 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	06
燃 料 等 使 用 量 (店 舗 面 積)	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量		14 kL/年
	(大規模小売店舗の場合は、店舗面積		m ²)
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第		号該当
連 絡 先	所 属 部 署	別紙のとおり	
	職 氏 名		
	電 話 番 号		
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線
で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省
告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。




日本工業規格A列4番

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 25年 7月 11日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼 7
株式会社 田中工業
代表取締役 田中一良  印
〔 個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印） 〕
電話番号 049-296-2191

平成 24 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第 1 4 条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	06
燃料等使用量の 原油換算合計量	14		kℓ/年
温室効果ガス (CO ₂ 換算) 総排出量	22		t-CO ₂ /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関す る措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況報 告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第 3 7 条 第 2 項 に 該 当 の 有 無		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
連 絡 先	所 属 部 署	別紙のとおり	
	職 氏 名		
	電 話 番 号		
※ 受付年月日	年 月 日	※ 整理番号	
※備考			



- 注
- 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成 21 年総務省告示第 1 7 5 号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
 - 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。

平成 25 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
IV類	I類 A事業所のみを有する特定事業者 II類 B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く） III類 C事業所を有する特定事業者 IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 田中工業	
所在地	埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼4 4 7	
事業者番号		
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	14	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	総合工事業	
分類番号 (中分類)	06	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容：土木建築工事 従業員数：29名 資本金：5,100万円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
		14
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		14

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.tanaka-kougyo.com
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社 総務課
	所在地 1	埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼 4 4 7
	閲覧可能時間 1	月～金 9時～17時 (土日、祝日を除く)
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
<input type="checkbox"/> その他	閲覧可能時間 2	

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 総務課	049-296-2191	049-296-4545	soumu@tanaka-kougyo.com
2 品質環境安全管理室	049-296-2191	049-296-1625	kanri@tanaka-kougyo.com
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

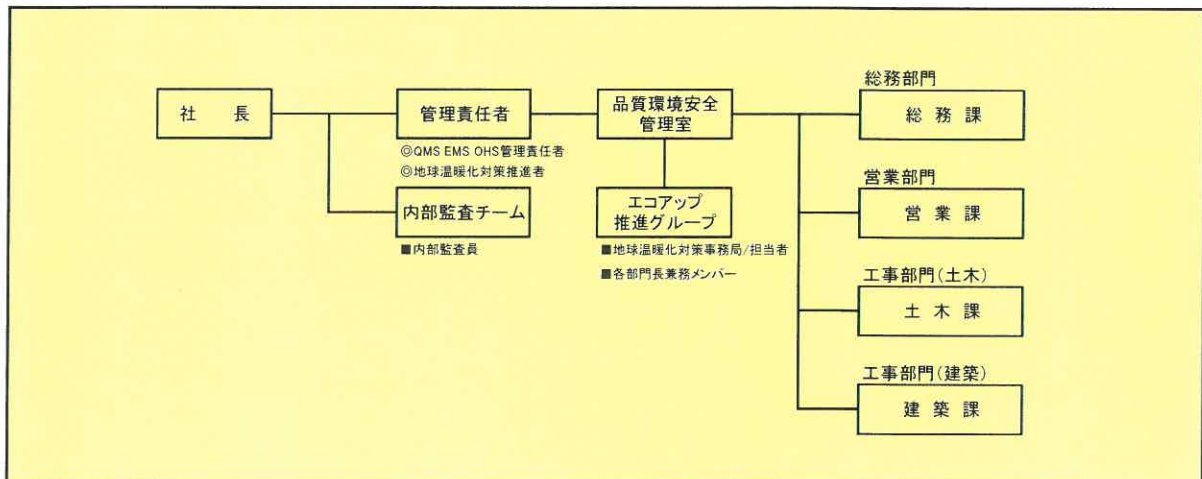
1. 環境方針

株式会社田中工業は、経営理念の中で「環境とバランスのとれた社会的、文化的な価値を創造し社会に貢献する」ことを誓っています。そこで、環境への配慮が、いつまでもきれいで豊かな自然環境を築き次世代に引き継ぐことを、当社の大きな責務と使命と考えて、次の基本方針を定め、汚染の予防と環境負荷の低減に取り組みます。

2. 基本方針

- (1) 環境マネジメントシステムを構築・運用・維持して、継続的な有効性改善を図る。
- (2) 事業活動が環境に及ぼす影響を低減するために環境への配慮、環境汚染の防止、リサイクルを徹底する。
- (3) 地域社会が推進する地球環境保護活動へ積極的に参加し、地球社会に貢献する。
- (4) 全ての従業員は、法令・社会規範・企業倫理の理解と順守から、真のCSRに取り組む。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	24	22	22		
その他ガス					
温室効果ガスの合計	24	22	22		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	品質環境安全管理室
	推進者職・氏名	専務取締役 田中歳光
	電話番号	049-296-2191
推進者 連絡先 (複数選任している場合)	推進者所属部署	
	推進者職・氏名	
	電話番号	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	株式会社 田中工業
	担当者所在地	埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼447
	担当者所属部署	品質環境安全管理室
	担当者職・氏名	専務取締役 田中歳光
	電話番号	049-296-2191
	FAX番号	049-296-4545
	E-mailアドレス	dr.tanaka@tanaka-kougyo.com

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	連絡・送付先事業者名称	株式会社 田中工業
	所在地	埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼447
	担当者所属部署	品質環境安全管理室
	担当者職・氏名	専務取締役 田中歳光
	電話番号	049-296-2191
	FAX番号	049-296-4545
	E-mailアドレス	dr.tanaka@tanaka-kougyo.com

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

平成	25	年度	事業者番号	4132	事業所番号	413200
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社田中工業(本社)				前年度に おける 事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	比企郡鳩山町				
	字・地番	大字赤沼447				
原油換算エネルギー 使用量 (kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
	使用量	16	14	14		
産業分類名(中分類)	総合工事業					
分類番号(中分類)	06					
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:土木・建築の設計、施工 従業員数:29名				
	延床面積	936.4				m ²
商標又は商号						

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	22	年度	~	26	年度
目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	平成21年度の原単位を基準として、平成26年度末までに毎年2%(5年で10%)削減して行きます。			
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社田中工業(本社)	比企郡鳩山町大字赤沼447
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂	目標		24	23	23	22	22	
	実績	24	24	22	22			
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標						
		実績	0	0	0	0		
	メ タ ン	目標						
		実績	0	0	0	0		
	一 酸 化 二 窒 素	目標						
		実績	0	0	0	0		
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0	0	0		
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0	0	0		
	六 ぶ っ 化 い お う	目標						
		実績	0	0	0	0		
温室効果ガスの合計	目標		24	23	23	22	22	
	実績	24	24	22	22			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	目標		0.9050	0.8860	0.8680	0.8492	0.8307	
	実績	0.9231	0.8276	0.7586	0.7586			
活動規模の指標	○	生産量 (単位) 1/年						
	○	出荷額 (単位) 百万円/年						
	●	従業員数 (単位) 人	26	29	29	29	29	
	○	床面積 (単位) m ²						
	○	()						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

燃料等使用量の単位換算(紙提出不要)
ア 都市ガスの圧力及び標準状態換算

事業所番号	413200
-------	--------

A事業所
株式会社田中工業(本社)

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
都市ガス	13A:45MJ/m ³	低圧用	m ³				
		中間圧以上用	m ³				
	13A:43.12MJ/m ³	低圧用	m ³				
		中間圧以上用	m ³				
	13A:46.04MJ/m ³	低圧用	m ³				
		中間圧以上用	m ³				
	12A:41.86MJ/m ³	低圧用	m ³				
		中間圧以上用	m ³				
	6A:29.30MJ/m ³	低圧用	m ³				
		中間圧以上用	m ³				

イ 液化石油ガス(LPG)

			使用量(換算前)			
	気化率 m ³ /kg	単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
プロパン・ブタン混合ガス (LPガス)	0.458	kg	109	25		
プロパン	0.502	m ³				
ブタン	0.355	m ³				
その他	0.482	m ³				

ウ 都市ガス・LPG以外の気体燃料

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
その他可燃性 天然ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m ³					
コークス炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m ³					
高炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m ³					
転炉ガス	気体燃料圧力	kPa					
	気体燃料温度	℃					
	使用量	m ³					

エ 電気または熱の事業所外への供給

			使用量(換算前)				
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
事業所外供給	電気	電気供給量	kWh				
		排出係数	t-CO ₂ /千kWh				
	熱	熱供給量	MJ				
		排出係数	t-CO ₂ /GJ				

コージェネレーションシステムの使用(紙提出不要)

事業所番号	413200
-------	--------

A事業所

ア 高効率コージェネレーションシステムの利用

株式会社田中工業(本社)

				実績値			
			単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
既存設備	5% ≤ 省エネ率 < 17.5%	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
	17.5% ≤ 省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
新設設備	10% ≤ 省エネ率 < 17.5%	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				
	17.5% ≤ 省エネ率	A	GJ				
		B	t-CO ₂				
		C	t-CO ₂				
		削減量	t-CO ₂				

イ コージェネレーションシステムで発電した電気または製造した熱の事業所外への供給

		実績値				
		単位	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
コージェネに供給した都市ガス由来排出量	t-CO ₂					
事業所外供給に関する排出量	t-CO ₂					
コージェネ電気・熱の外部供給による削減量	t-CO ₂					

排出品名	区分	単位	事業所別使用量					単位当たりの燃熱量	排出係数
			年						
			23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)		
燃料	原油(コンデンゼートを除く)	L					38.2	0.0187	
	原油のニトロゲンアミンセーント(NGL)	L					35.3	0.0184	
	揮発油(イガソリン)	L					34.6	0.0182	
	ナフ	L					36.7	0.0185	
	軽油	L					37.7	0.0187	
	A	L					38.1	0.0189	
	B	L					41.9	0.0195	
	石油ガス(プロパン)	kg					66.9	0.0208	
	石油ガス(ブタン)	kg					29.9	0.0254	
	石油ガス(液化石油ガス)	L	0	0	0	0	66.8	0.0187	
	石油(石油炭化水素ガス)	kg					44.9	0.0142	
	可燃性天然ガス(LNG)	kg					54.6	0.0135	
	天然ガス(その他可燃性天然ガス)	L	0	0	0	0	44.5	0.0139	
	原料	kg					29.6	0.0245	
	石炭	kg					25.7	0.0247	
石炭	kg					26.9	0.0255		
石炭	kg					29.1	0.0294		
コークス	kg					37.4	0.0269		
コークス	kg					21.1	0.011		
薪	kg					3.1	0.0266		
軽油	L					84.1	0.0184		
熱	都市ガス	m ³					45	0.0136	
	都市ガス	m ³					43.12	0.0136	
	都市ガス	m ³					46.04	0.0136	
	都市ガス	m ³					44.86	0.0136	
	都市ガス	m ³					28.30	0.0136	
	都市ガス	m ³							
	都市ガス	m ³							
	都市ガス	m ³							
	都市ガス	m ³							
	都市ガス	m ³							
電気	産業用蒸気	MJ					1.02	0.06	
	産業用以外の蒸気	MJ					1.36	0.057	
	水	MJ					1.36	0.057	
	木	MJ					1.36	0.057	
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
	再生可能エネルギーの発電設備を稼働させた	MJ							
その他	自らが生成した熱の供給	kg							
	自らが生成した電力の供給	MWh							
	コージェネレーションシステムの利用	tCO ₂							

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量	
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12		
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂	
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187 t-CO ₂ /GJ	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.0184 t-CO ₂ /GJ	
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.0183 t-CO ₂ /GJ	
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182 t-CO ₂ /GJ	
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185 t-CO ₂ /GJ	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187 t-CO ₂ /GJ	
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189 t-CO ₂ /GJ	
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195 t-CO ₂ /GJ	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208 t-CO ₂ /GJ	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254 t-CO ₂ /GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.0161 t-CO ₂ /GJ
		石油系炭化水素ガス		tNm ³	44.9		GJ/tNm ³		0.0142 t-CO ₂ /GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t		0.0135 t-CO ₂ /GJ
		その他可燃性天然ガス		tNm ³	43.5		GJ/tNm ³		0.0139 t-CO ₂ /GJ
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.0245 t-CO ₂ /GJ
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.0247 t-CO ₂ /GJ
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.0255 t-CO ₂ /GJ
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294 t-CO ₂ /GJ	
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209 t-CO ₂ /GJ	
	コークス炉ガス		tNm ³	21.1	GJ/tNm ³			0.0110 t-CO ₂ /GJ	
高炉ガス		tNm ³	3.41	GJ/tNm ³		0.0266 t-CO ₂ /GJ			
転炉ガス		tNm ³	8.41	GJ/tNm ³		0.0384 t-CO ₂ /GJ			
その他燃料	都市ガス ^(注)	13A:45MJ/m ³	tNm ³	45	GJ/tNm ³		0.0136 t-CO ₂ /GJ		
		13A:43.12MJ/m ³	tNm ³	43.12	GJ/tNm ³		0.0136 t-CO ₂ /GJ		
		13A:46.04MJ/m ³	tNm ³	46.04	GJ/tNm ³		0.0136 t-CO ₂ /GJ		
		12A:41.86MJ/m ³	tNm ³	41.86	GJ/tNm ³		0.0136 t-CO ₂ /GJ		
		6A:29.30MJ/m ³	tNm ³	29.3	GJ/tNm ³		0.0136 t-CO ₂ /GJ		
小計									
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.060 t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ					0.057 t-CO ₂ /GJ	
	小計								
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	t-kWh	9.97	GJ-t-kWh	0.0258		0.386 t-CO ₂ -t-kWh	
		夜間(22時~翌8時)	t-kWh	9.28	GJ-t-kWh			0.386 t-CO ₂ -t-kWh	
	その他の買電		57	t-kWh	9.76		GJ-t-kWh	556	0.386 t-CO ₂ -t-kWh
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電		t-kWh						0.386 t-CO ₂ -t-kWh
	再生可能エネルギーを自家消費した電		t-kWh						-0.193 t-CO ₂ -t-kWh
小計					556	14	22		
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ -GJ	
	自ら生成した電力の供給		t-kWh					t-CO ₂ -t-kWh	
	小計								
コージェネレーションシステムの利用									
合計					556	0.0258	14	22	

エネルギー起源CO₂

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12				
	数値	単位	単位	GJ	KL/GJ	KL	単位	t-CO ₂			
燃料	原油(コンデンセートを除く)		KL	38.2	GJ/KL	0.0258		0.019 t-CO ₂ /GJ			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		KL	35.3	GJ/KL			0.018 t-CO ₂ /GJ			
	揮発油(ガソリン)		KL	34.6	GJ/KL			0.018 t-CO ₂ /GJ			
	ナフサ		KL	33.6	GJ/KL			0.018 t-CO ₂ /GJ			
	灯油		KL	36.7	GJ/KL			0.019 t-CO ₂ /GJ			
	軽油		KL	37.7	GJ/KL			0.019 t-CO ₂ /GJ			
	A重油		KL	39.1	GJ/KL			0.019 t-CO ₂ /GJ			
	B・C重油		KL	41.9	GJ/KL			0.020 t-CO ₂ /GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021 t-CO ₂ /GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.025 t-CO ₂ /GJ			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.016 t-CO ₂ /GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t		0.014 t-CO ₂ /GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ		
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.025 t-CO ₂ /GJ		
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.025 t-CO ₂ /GJ		
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.026 t-CO ₂ /GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.029 t-CO ₂ /GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.021 t-CO ₂ /GJ			
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011 t-CO ₂ /GJ			
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.027 t-CO ₂ /GJ			
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.038 t-CO ₂ /GJ			
	その他燃料	都市ガス ⁽⁶⁾	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ		
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ				
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ				
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ				
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.014 t-CO ₂ /GJ				
小計											
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.060 t-CO ₂ /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057 t-CO ₂ /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ					0.057 t-CO ₂ /GJ			
	小計										
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	kWh	9.97	GJ/kWh	0.0258		0.386 t-CO ₂ /kWh			
		夜間(22時~翌8時)	kWh	9.28	GJ/kWh			0.386 t-CO ₂ /kWh			
	その他の買電		56	kWh	9.76		GJ/kWh	547	14	0.386 t-CO ₂ /kWh	22
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電		kWh							0.386 t-CO ₂ /kWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		kWh							-0.193 t-CO ₂ /kWh	
	小計							547	14		22
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		kWh						t-CO ₂ /kWh		
	小計										
コージェネレーションシステムの利用											
合計					547	0.0258	14		22		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量	
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12		
	数値	単位	単位	GJ	KL/GJ	KL	単位	t-CO ₂	
燃料	原油(コンデンセートを除く)		KL	38.2	GJ/KL	0.0258	0.019	t-CO ₂ /GJ	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		KL	35.3	GJ/KL		0.018	t-CO ₂ /GJ	
	揮発油(ガソリン)		KL	34.6	GJ/KL		0.018	t-CO ₂ /GJ	
	ナフサ		KL	33.6	GJ/KL		0.018	t-CO ₂ /GJ	
	灯油		KL	36.7	GJ/KL		0.019	t-CO ₂ /GJ	
	軽油		KL	37.7	GJ/KL		0.019	t-CO ₂ /GJ	
	A重油		KL	39.1	GJ/KL		0.019	t-CO ₂ /GJ	
	B・C重油		KL	41.9	GJ/KL		0.020	t-CO ₂ /GJ	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-CO ₂ /GJ	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-CO ₂ /GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-CO ₂ /GJ
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-CO ₂ /GJ
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-CO ₂ /GJ
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-CO ₂ /GJ
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-CO ₂ /GJ
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-CO ₂ /GJ	
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-CO ₂ /GJ	
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-CO ₂ /GJ	
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³	0.027	t-CO ₂ /GJ			
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³	0.038	t-CO ₂ /GJ			
その他燃料	都市ガス ⁽²⁾	13A:15MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ		
		13A:13.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ		
		13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ		
		12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ		
		6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³	0.014	t-CO ₂ /GJ		
小計									
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258	0.060	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO ₂ /GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ				0.057	t-CO ₂ /GJ	
	小計								
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	0.386	t-CO ₂ /千kWh	
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電		千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh				-0.193	t-CO ₂ /千kWh	
	小計								
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ				t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh				t-CO ₂ /千kWh		
	小計								
コージェネレーションシステムの利用									
合計					0.0258				

種類	使用量		単位当たりの発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量		
	①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×11/12		
	数値	単位	単位	GJ	kl/GJ	kl	単位	t-CO ₂		
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kl	38.2	GJ/kl	0.0258		0.019	t-CO ₂ /GJ	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	35.3	GJ/kl			0.018	t-CO ₂ /GJ	
	揮発油(ガソリン)		kl	34.6	GJ/kl			0.018	t-CO ₂ /GJ	
	ナフサ		kl	33.6	GJ/kl			0.018	t-CO ₂ /GJ	
	灯油		kl	36.7	GJ/kl			0.019	t-CO ₂ /GJ	
	軽油		kl	37.7	GJ/kl			0.019	t-CO ₂ /GJ	
	A重油		kl	39.1	GJ/kl			0.019	t-CO ₂ /GJ	
	B・C重油		kl	41.9	GJ/kl			0.020	t-CO ₂ /GJ	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.021	t-CO ₂ /GJ	
	石油コータス		t	29.9	GJ/t			0.025	t-CO ₂ /GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.016	t-CO ₂ /GJ
		石油系炭化水素ガス		tNm ³	44.9		GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t		0.014	t-CO ₂ /GJ
		その他可燃性天然ガス		tNm ³	43.5		GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.025	t-CO ₂ /GJ
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.025	t-CO ₂ /GJ
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.026	t-CO ₂ /GJ
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.029	t-CO ₂ /GJ	
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.021	t-CO ₂ /GJ	
	コークス炉ガス		tNm ³	21.1	GJ/tNm ³			0.011	t-CO ₂ /GJ	
高炉ガス		tNm ³	3.41	GJ/tNm ³		0.027	t-CO ₂ /GJ			
転炉ガス		tNm ³	8.41	GJ/tNm ³		0.038	t-CO ₂ /GJ			
その他燃料	都市ガス ⁽²⁵⁾	13A:45MJ/m ³	tNm ³	45	GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ		
		13A:43.12MJ/m ³	tNm ³	43.12	GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ		
		13A:46.04MJ/m ³	tNm ³	46.04	GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ		
		12A:41.86MJ/m ³	tNm ³	41.86	GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ		
		6A:29.30MJ/m ³	tNm ³	29.3	GJ/tNm ³		0.014	t-CO ₂ /GJ		
				GJ/			t-CO ₂ /GJ			
				GJ/			t-CO ₂ /GJ			
小計										
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.060	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
	再生可能エネルギーの環境価値を移した熱		GJ					0.057	t-CO ₂ /GJ	
	小計									
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	tKWh	9.97	GJ/tKWh	0.0258		0.386	t-CO ₂ /tKWh	
		夜間(22時~翌8時)	tKWh	9.28	GJ/tKWh			0.386	t-CO ₂ /tKWh	
	その他の買電		tKWh	9.76	GJ/tKWh			0.386	t-CO ₂ /tKWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電		tKWh					0.386	t-CO ₂ /tKWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		tKWh					-0.193	t-CO ₂ /tKWh	
	小計									
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		tKWh					t-CO ₂ /tKWh		
	小計									
コージェネレーションシステムの利用										
合計					0.0258					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量	
		①		②	③=①×②	
		数値	単位		t-CO ₂	
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却 及び 製品の製造の 用途への使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)		t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維		t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴム タ イ ヤ		t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び硬コムタイプ以外の廃プラスチック類 (産業廃棄物に限る)		t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類		t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料 の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く) から製造される燃料油		kl	2.63 t-CO ₂ /kl	
		廃プラスチック類から製造される燃料油 (自ら製造するものを除く)		kl	2.62 t-CO ₂ /kl	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰		t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス 又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニア の製造	石炭(一般・輸入)		t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kl	2.3 t-CO ₂ /kl	
		石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス(LPG)		t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス(LNG)		t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く)		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
	石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³		
	シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t		
カルシウム カーバイド の製造	生石灰の製造		t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元		t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
小	計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数		
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	六フッ化イオウ		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
	小	計				
	合	計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物油性のものを除く)	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴム タ イ ヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及びポリエステル以外の廃プラスチック類(産業廃棄物に限る)	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ 固形燃料 (R P F)	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ 固形燃料 (R D F)	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物油性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油	kl	2.63 t-CO ₂ /kl	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)	kl	2.62 t-CO ₂ /kl	
		ごみ 固形燃料 (R P F)	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ 固形燃料 (R D F)	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石 灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ド ロ マ イ ト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ナダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石 灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ド ロ マ イ ト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石 炭 (一 般 ・ 輸 入)	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナ フ サ	kl	2.3 t-CO ₂ /kl	
		石 油 コ ー ク ス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液 化 石 油 ガ ス (LPG)	t	3 t-CO ₂ /t	
		液 化 天 然 ガ ス (LNG)	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天 然 ガ ス (液 化 天 然 ガ ス (LNG) を 除 く)	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コ ー ク ス 炉 ガ ス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
石 油 系 炭 化 水 素 ガ ス	千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生 石 灰 の 製 造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生 石 灰 の 還 元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
小 計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メ タ ン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ Eq/t-CH ₄
	一 酸 化 二 窒 素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ Eq/t-N ₂ O
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン			t-	t-CO ₂ Eq/t-
				t-	t-CO ₂ Eq/t-
	ハ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン			t-	t-CO ₂ Eq/t-
				t-	t-CO ₂ Eq/t-
	六 ぶ つ 化 い お う			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ Eq/t-SF ₆
	小 計				
	合 計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量	
		①		②	③=①×②	
		数値	単位		t-CO ₂	
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物性のものを除く)		t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維		t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴム		t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴム(タイヤ以外の廃プラスチック類(産業廃棄物に限る))		t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類		t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油		kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)		kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料(RPF)		t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)		t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t		
	生石灰の製造	石灰		t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t		
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t		
	アンモニアの製造	石炭(一般・輸入)		t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス		t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス(LPG)		t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス(LNG)		t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く)		千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³			
シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造		t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元		t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t			
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t			
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t			
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
			t-CO ₂ /			
小	計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数		
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄		
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O		
	ハイドロフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	パーフルオロカーボン		t	t-CO ₂ /t		
			t	t-CO ₂ /t		
	六フッ化イオウ		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆		
小	計					
合	計					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油(植物性のものを除く)	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及びびんゴムタイ以外の廃プラスチック類(産業廃棄物に限る)	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RPF)	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油(植物性のもの及び動物性のものを除く)から製造される燃料油	kl	2.63 t-CO ₂ /kl	
		廃プラスチック類から製造される燃料油(自ら製造するものを除く)	kl	2.62 t-CO ₂ /kl	
		ごみ固形燃料(RPF)	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料(RDF)	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭(一般・輸入)	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kl	2.3 t-CO ₂ /kl	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス(LPG)	t	3 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス(LNG)	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス(液化天然ガスを除く)	千Nm ³	2.4 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.3 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.3 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.1 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
			t-CO ₂ /		
小計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O
	ハイドロフルオロカーボン			t-	t-CO ₂ /t-
				t-	t-CO ₂ /t-
	ハフフルオロカーボン			t-	t-CO ₂ /t-
				t-	t-CO ₂ /t-
	六フッ化イオウ			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆
小計					
合計					

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考
	区分番号	区分名称			
		大区分			
1	110100	一般管理事項 11_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備と管理会議(1回/月)	平成21年度～	システムマニュアル/エコアップ手順書
2	110100	一般管理事項 11_推進体制の整備	全従業員の品質環境安全の向上教育	平成16年度～	システムマニュアル/エコアップ手順書 教育訓練計画書
3	110300	一般管理事項 11_計測及び記録の管理	使用エネルギーの月次管理(データ集計、分析)	平成21年度～	品質環境安全管理会議で報告
4	130100	空気調和設備・換気設備 13_空気調和の運転管理	室内温度管理 冷房28℃、暖房20℃の設定	平成21年度～	設定シール
5	130200	空気調和設備・換気設備 13_空気調和設備の効率管理	幼卒空調機の導入及び春秋の外気取り入れの推進	平成22年度～	
6	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍 冷蔵設備、厨房設備 14_給湯設備の管理	洗面所における給湯停止	平成22年度～	
7	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍 冷蔵設備、厨房設備 14_給湯設備の管理	湯沸かし器の運転操作の効率化の推進	平成22年度～	
8	150200	受変電設備、照明設備、電気 設備 15_照明設備の運用管理	日直光灯の入れ替え	平成22年度～	平成26年度未までに順次更新予定
9	150200	受変電設備、照明設備、電気 設備 15_照明設備の運用管理	不要時、不在時の消灯および感測消灯の実施	平成22年度～	
10	150300	受変電設備、照明設備、電気 設備 15_事務用機器等の管理	不要時、退社時における事務機器の主電源offの徹底	平成22年度～	定期的に朝礼時に従業員に周知および社内掲示
11	160200	昇降機、建物 16_建物の省エネルギー	グリーンカーテンの設置	平成21年度～	夏季のみ
12	180200	その他 18_その他	雨水貯留タンクの設置、グリーンカーテンへの雨水利用	平成24年度～	本社屋上
13	130200	空気調和設備・換気設備 13_空気調和設備の効率管理	インバーターエアコンの導入と効率化の推進	平成22年度～	
14					
15					

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

事業所番号 413200

A事業所

(1) 温室効果ガス排出量の推移

株式会社田中工業(本社)

CO₂換算(t-CO₂)

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
燃料等使用量の原油換算量(kL)			15	16	13	15	15	14	14	14	14		
エネルギー起源CO ₂			28	29	23	27	27	24	24	22	22		
非エネルギー起源CO ₂										0	0		
メタン										0	0		
一酸化二窒素										0	0		
ハイドロフルオロカーボン										0	0		
パーフルオロカーボン										0	0		
六ふっ化いおう										0	0		
合計	0	0	28	29	23	27	27	24	24	22	22		

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			1.1200	1.1154	0.9583	1.0385	1.0385	0.9231	0.8276	0.7586	0.7586		
生産量 (単位) t/年								○					
出荷額 (単位) t/年									0	0	0	0	0
従業員数 (単位) 人			25	26	24	26	26	26	29	29	29	29	29
床面積 (単位) m ²								0	0	0	0	0	0
()								0	0	0	0	0	0

(※希望者のみ記載)

A事業所
株式会社田中工業(本社)

自由記述欄

1.環境マネジメントシステムへの取り組み

当社では、平成21年4月に「エコアップ宣言」以来、地球温暖化対策や廃棄物の削減に取り組んで来ました。平成23年1月には環境マネジメントシステムISO14001の運用をスタートし、同年12月に認証を取得しました。また、併せて関連のある労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS18001の国際規格も同時取得しました。

現在、平成13年に取得のISO9001品質マネジメントシステムと統合させ、3規格の統合マネジメントシステムと併せて埼玉県エコアップEMSを運用しています。

2.省エネへの取り組み

インバータ機器の導入で消費電力の削減に取り組んでいます。

- ・平成22年度に、古い既存の全てのエアコンをインバータエアコンに入れ替えが完了しました。
- ・同じく平成22年以降、照明器具についても古い照明器具からインバータ型の照明器具に切り替えを実施しています。

3.清掃とボランティアへの取り組み

- ・平成20年度以降、「彩の国ロードサポート」に取り組む、年4回実施しています。
- ・毎年「ふれあい市野川クリーンアップ作戦」に参加しています。

4.インターネットへの情報公開

当社のホームページ URL:<http://www.tanaka-kougyo.com>にて、環境への取り組み及び社会貢献への活動の取り組みを公開しています。